

## 全本文をCD-ROMに収録したハイブリッド辞書

### 『ハイブリッド新辞林』

ハンディーな辞書「辞林21」が発売から5年を経て、本書に生まれ変わった。3段で生まれ、ページに見出しがぎっしり詰まっているため、これだけのサイズに15万項目ものことが収録されている。内容も、パソコンが生活に入り込んだ現代の日常に即して改定されている。

たとえば、「圧縮」や「解凍」といった単語はパソコン誌などでよく用いられているが、従来の辞書では正しく引けなかった。しかし、本書では「データを変換し小さくすること」と正しい解説がされている。同様に、巻末のアルフ

アベット略語辞典では、「TCP/IP」、「ISP」、「PPP」といったインターネットに関連した用語も収録されている。

さらに、付属のCD-ROMの機能も向上していて、辞書の全本文を収録しているほか、ビューアソフト「DTONIC」を使って見出し語の先頭一致と後方一致、全文からのキーワード検索、漢字検索などができるようになっている。さらに、関連するホームページがある見出しにはURLが埋め込まれていて、WWWブラウザで目的のページにアクセスできる。

画像や音声を含んだマルチメディア辞書ではなく、文字情報が中心の辞書だが、CD-ROM内の情報からインターネット上の情報につなぎ目なしに移れる機能は目新しい。CD-ROMはウィンドウズとマッキントッシュに対応する。



松村明、佐和隆光、  
養老孟司 監修  
株式会社三省堂 発行  
2243ページ+ CD-ROM  
本体 6,300円+税  
ISBN4-385-14026-X



# 社会にとけ込むインターネット

菊地宏明 Hiroaki Kikuchi

## インターネットと社会の接点で起こる問題とは

### 『市民力としてのインターネット』



牧野二郎 著  
岩波書店 発行  
255ページ+ CD-ROM  
本体 1,700円+税  
ISBN4-00-026271-8

広告媒体、個人の通信、情報の発信、ソフトウェアや情報の流通・サービスの場として、90年代に入り普及し始めたインターネットが、急速に社会の中に入り込んできている。そして、これまでの日本の文化とインターネットの文化が混ざり合うとき、今まで経験したことのない効果や障害が生まれ始め

た。本書は、インターネットを受け入れた日本の社会で、何が起きているのかを知るための1冊だ。弁護士として活躍される著者が、インターネットと日本の社会の接点で起きているさまざまな出来事や問題を書いている。インターネットで提供されるアダルト向けコンテンツを規制する改正風俗営業法、警察がベッコアメインターネットに強制捜査をしたことから生まれた準抗告事件、コーピス社が買い漁る文化財などのデジタル化権、富山県山田村のインターネット化、東京都世田谷区の小学校のホームページが投げかけた教育現場と教育委員会とのギャップ。どれも日本でインターネットと交わる接点で起きている。これらの出来事や問題がこれからどのような方向へ向かうのか、日本の社会はどのようにインターネットと融合していくのか、我々は見つめる義務を負っていることを感じながら読みたい。

## インターネットで店を開くための入門書

### 『電子商店繁盛記』

表紙に書かれた酒瓶を表示させたノートパソコンをもつ親父さんのイラストが印象的な本書は、インターネットでの通販ビジネスを解説した入門書である。最近では、マーケティング理論に基づいて展開される戦略的インターネットビジネスの本が増えてきたが、イラストを見れば分かるのとおり、それらの本とはちょっと趣が異なる。

インターネットでのビジネスの展開にもの弾みで踏み込んだ中堅酒造メーカーの社長を想定して、電子商店の構築から経営を軌道に乗せるまでの過程を追いながら、発生する問題点とその解決法を解説していく形で進んでいく(だから、表紙のようなイラストになっているわけだ)。アドバイスや技術的解説のほかに、すでにインターネットビジネスを軌道に乗せているプロが語る「成功の秘訣」

も書かれている。

本書は、『日経マルチメディア』に連載されていた「デジタル・ビジネス実践講座」に書き下ろしの原稿を加えてまとめたものだ。全10章がそれぞれ連載1回分に当たる内容なので、読みやすい量にまとめられている。理論的な解説がないぶん物足りなさもあるが、肩の力を抜いて誰にでも読める入門書としての使命を十分に果たしている。



日経マルチメディア 編  
日経BP社 発行  
255ページ  
本体 1,333円+税  
ISBN4-8222-1053-7

## 使える情報を見つけるための検索テクニック集

### 『インターネット ビジネス 情報検索 A to Z』

インターネット上の情報を仕事に活用する鍵は「検索の仕方」にある。いかに必要な情報を効率よく検索できるかが問題なのだ。さまざまなウェブサイトが提供する膨大な情報は、市販のCD-ROMで提供されるデータベースのデータ量を凌駕するといっても過言ではない。インターネットをはじめたばかりでは、この大海のような情報量に飲み込まれ、目的の情報にたどり着くまでに溺れてしまうことだろう。

本書は、ビジネスで活用できそうな分野の情報を検索するテクニックや情報源に焦点を絞り、インターネットをはじめたばかりのビギナーでも活用できる内容になっている。

難しい検索テクニックより

根本佳子 著  
株式会社インプレス 発行  
255ページ  
本体 1,480円 + 税  
ISBN4-8443-4893-0

も、効率よく検索するコツを取り上げ、検索サービスの使い方を解説している。また、検索して見つけた有益なウェブサイトを整理するための、ネットスケープナビゲーターとインターネットエクスプローラの両方のブックマーク機能の使い方なども、画面イメージを多く使って分かりやすく解説している。

本書の後半は、企業、官公庁、マーケティング、税金 / 法律、辞書、ニュースといったテーマごとにウェブサイトのページを紹介している。それぞれのウェブサイトごとに検索のコツなどが書かれていて非常に便利だ。



家辺勝文 著  
有限会社ひつじ書房 発行  
173ページ  
本体 2,400円 + 税  
ISBN4-89476-100-9

## 知っているようで知らない「テキスト」の解説書

### 『デジタルテキストの技法』

コンピュータで扱われる「テキスト」という情報の形態にいつも悩まされる。電子メールに添付されて送られてきたファイルが自分の持っていないワープロソフトのフォーマットだったり、改行コードが異なったり、文字コード自体が異なったり、改行がない長い文章であったりと難儀する種は尽きない。そこで、改めて「テキスト」とはどういったものなのかを再確認したくなる。本書はその疑問に答えてくれる。

文字コード、フォント、ページデザイン、プレーンテキスト、HTML

のようなマークアップされた構造を持つテキスト、利用者が評価後に対価を支払うシェアテキストといったものが解説されていて、基礎的なコンピュータに関する知識があれば難なく読める。

本書を読めば、普段何気なく扱っている文字情報にもたくさんの問題点があり、また、さまざまな技術が用いられていることがわかる。さらに、符号としての内容を重視する考え方と現実の本のように体裁までをデジタルデータとして表現しようとする考え方が共存しながら発展し、試行錯誤を繰り返しながら技術革新が行われてきたこともわかるだろう。

## HTTPサーバーのソースコードをCD-ROMに収録

### 『HTTP 詳説 作ってわかる HTTP プロトコルのすべて』

本書は、HTTP サーバー (WWW サーバー) の作成を通して、HTTP サーバーとWWW ブラウザーの間のやり取りに使われるHTTP プロトコルを解説している本だ。とくにHTTP サーバーを構築したいというネットワーク管理者やHTTP プロトコルを使うソフトウェアを開発したいというプログラマーに役に立つ内容が書かれている。

まず、HTTP プロトコルの概要と詳細の解説から始まり、プログラム作成に必須のソケット (TCP/IP ネットワークで基本的な

使われる通信メカニズム) の使い方の解説が続く。最後にプログラムのソースコードを見せながら、わかりやすくHTTP サーバーの解説をしている。

ただし、図版が少なく、データの構造をプログラムのように表し、処理の手順を文章で説明していたり、C++ 言語ベースで書かれているソースコードを読みこなす能力が必要になったりと、開発者やSE、サーバー管理者などの上級者向けの本になっている。HTTP サーバーを作りたいとか、HTTP サーバーの仕組みを知りたいという人には、HTTP1.1に準拠したサーバーのソースコードと、基本的な解説の構成は重宝するだろう。

また、付属のCD-ROMには、ウィンドウズNTやOS/2で動作するように作られたHTTP サーバーのソースコードや、有名なHTTP サーバー「Apache」のソースコード、RFCドキュメント、さらに本書の原文まで収められていて、もはや冊子のおまけではない内容だ。ドキュメントはRFCも含めてすべて英語だが、HTTPサーバーの作成を学ぶには十分な資料が詰まっている。このCD-ROMだけでも購入価値は十分にあるだろう。



ポール・S・ヘスマン 著 / ファサード 訳  
株式会社プレジデンスホール出版 発行  
400ページ  
本体 4,200円 + 税  
ISBN4-89471-041-2



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)